

一人ひとりに寄り添いながら教育を—— 留学生の教育・就業を全面的にサポート

HATCH EDUCATION 株式会社

大阪府大阪市阿倍野区阪南町 1-54-15

URL : <https://hatch-ed.jp/>

大学時代の塾講師のアルバイトから一貫して教育に携わってきた初瀬川社長。一人ひとりに寄り添い、外国人留学生の学びや就業のサポートをメインに様々な事業を展開している。本日はタレントの野村将希氏が社長のもとを訪問。お話を伺う中で、その熱い想いに触れた。



interviewer
野村 将希

interview

代表取締役 初瀬川 初雄



——まずは初瀬川社長の歩みから順を追って伺います。

父が英語教師だったこともあり、私も教師になりました。1994年から2006年までは、『クラーク記念国際高等学校』で情報実習の授業を指導。2007年からは13年ほど『森ノ宮医療学園専門学校』にて情報実習の授業をはじめ、就職支援、学生募集なども担当させていただきました。

——現在は外国人留学生支援事業などを手掛けていらっしゃるようですが、どんなきっかけがあって関わるようになったのでしょうか。

『森ノ宮医療学園専門学校』勤務時代に、何か新しい分野の学校を手掛けてみたいと申し出たところ、**新たに介護福祉士を育成する学校を設立するプロジェクトが立ち上がりまして、それに参加することになったんです。**ただ、介護の分野は日本人のなり手が少ないということで、外国人留学生を対象にすることに。外国人介護人材募集担当として、ベトナム、インドネシア、台湾を訪問し、初年度56名の希望者を集めました。そうして2019年に『森ノ宮医療学園ランゲージスクール』の開校に尽力しました。そちらは、日本語学校2年、介護の専門学校2年の4年間一貫教育の学校で、専門学校

卒業後は介護福祉士の国家資格を取得し介護現場で働けるよう指導しています。

——外国人材の活躍は今後も高まっていくことですから、今後もそのような学校が増えていくでしょうね。

ええ。そちらの開校を見届け、退職することになりました。そのご報告を、勤務時代に留学生受け入れの窓口を担っていたインドネシア・ベトナム・台湾の担当者の方々にしたところ、「個人的に窓口になってほしい」と相談を受けまして、それならばと独立し、『HATCH EDUCATION』を立ち上げました。

——それだけ人望があったということですね。現在はどのような事業を手掛けていらっしゃるのでしょうか。

はい。留学生の募集から留学先の学校の紹介、就職のサポートまでを一貫して行っています。また外国人材の紹介、日本語教師の研修会等のセミナー事業、さらに2020年からは、区の依頼で大阪市住之江会館主催のパソコン講座を担当しております。

——お仕事をされる上で大切にしていることはありますか。

会社の理念としても掲げているのが、「教育で未来を明るく」「人に寄り添う教育の実践」です。一方通行の教育ではなく、一人ひとりに寄り添いながら教育を

行うことを意識しています。皆、様々な理由で日本にきていますが、彼らが母国に帰る時に、「日本に来て良かった」と思ってもらえることが私の願いなんです。私共が紹介している就業先についても、温かく迎えてくれて、日本人と同じ条件で雇用してくれるところに限定していますよ。

——最後に、これからの展望をお聞かせ願えますか。

介護の分野で、施設ではできない部分をカバーしていきたいという思いがあり、新たに介護タクシーの事業に参画したいと思っています。

(2020年11月取材)



「最終的には海外で日本語学校を開校することが夢だと語ってくれた初瀬川社長。“教育で未来を明るく”を目指していく社長のこれからの活躍が今から楽しみです。」 野村 将希・談